

# とびこもう地域の中へ つながろう 麻生

麻生区地域自立支援協議会

平成29年11月13日

川崎市地域自立支援協議会全体会議 報告資料

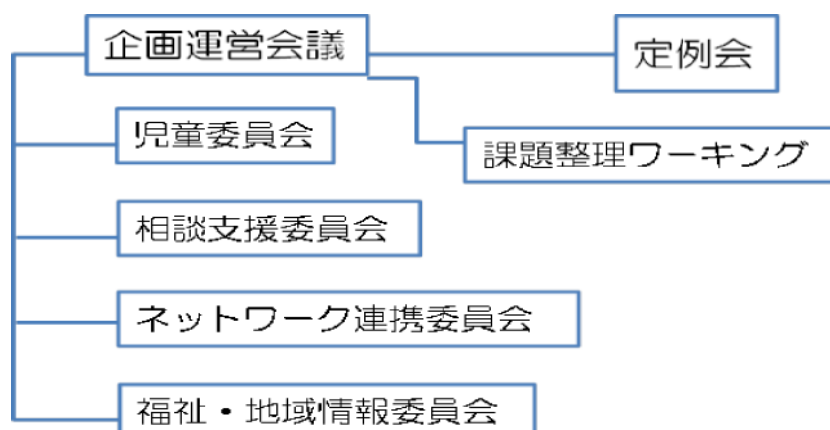


## 目標について

長期目標 「とびこもう地域の中へ つながろう麻生」

短期目標 「3年間の活動を総括(評価)し、地域の課題を共有することで、次年度の取組を決める」

## 組織図



# 定例会

- ・構成員から「報告がメインではなく、様々な意見交換が活発に行える場であって欲しい」という意見があり、主にグループワークの中で話せる機会を設けた。
- ・提出された課題から区協議会として協議する項目を皆で検討。昨年提出された13項目から以下の項目をグループワークで話し合っている。

定例会	題目
6月	日中の居場所(知的・精神の障害が重複している人の活動先がない)
7月	グループホーム(数・情報の不足、夜間休日の対応、視覚障害者向けがない)
8月	施設利用の際の送迎(短期入所の送迎など)
9月	医療的ケア(どのサービスも利用が困難)
10月	サービスの不足(移動支援のヘルパー、通所通学支援などが足りない)
11月	災害時の支援(災害時にそれぞれが果たせる役割が何かかわかっていない)

# 課題整理ワーキング

- ・平成26年度から28年度まで提出されていた課題を一覧表にて管理し、区企画運営会議に報告。  
※区定例会等にて課題をどう議論していくかを検討した結果、議論できる時間も限りがあるため、優先して議論する項目を選定。
- ・ワーキングの役割として、今年度定例会にて課題について話合った内容を整理している。  
整理した内容は、今年度末に話し合う次年度の取り組みの資料として活用することとなっている。

# 児童委員会

1. 活動目的 「こどものえがお つながるあさお」
2. 長期目標 「児童及び児童にかかわる方々のニーズに応じた情報発信をする」
3. 短期目標 「委員会内の各活動(出張相談・リーフレット・ピアサポーター・共生活動)について精査し、来年度以降の委員会の方向性を検討する」
4. 活動状況

- 出張相談は、麻生区内小学校校長会、麻生・多摩区合同中学校会に出向き、実施に向けた説明等を行う。ただ、学校からの依頼は中々来ないのが現状。知り合いの先生等への働きかけを考えている。
- ピアサポーター向けの学習会を12月に麻生区役所にて開催予定。内容は、学齢期からの移行期について
- その他の活動について、リーフレットを作成してきたが、作成した内容の許可を得るため関係機関へ確認するも、内容修正等が入ったり、制度等がかわったりする等、現在発行が出来ない状況である。目標にも掲げたが、作成自体をどうするかを含め検討していく。

# 福祉・地域情報委員会

1. 活動目的 「障害のある方や身近な人に、情報を届ける」
2. 長期目標 「つながろうカードをきっかけに地域への障害理解を深める」
3. 短期目標 「地域のイベントでつながろうカードを配布し、必要としている方に相談先情報を伝える」
4. 活動状況

- つながろうカードは、今年度も1000部を増刷し、様々な方が手にとる機会が得られる場として、各イベント(夏まつり等)での配布や多摩区・麻生区の各病院に置いていただくよう調整した。
- 今年度は、カード配布をした効果等をモニタリングする取り組みを考えており、現在、設置場等への聴き取りを行っている。

# ネットワーク連携委員会

## 1.活動目的

「障害のある人もない人も共に生きる社会をつくるため麻生区の福祉団体以外(企業や高校、大学等の教育機関)と連携できるようにつながりの方法や手段を考えていく」

## 2.長期目標

「地域に活動内容を発信しコラボレーションできる関係を目指す」

## 3.短期目標

「企業訪問インタビューと地域福祉交流講座の活動を継続し協議会の認知度を高め地域とつながる」

## 4.活動状況

- ・7月にタクシー会社「コスモ交通」へ企業訪問インタビュー実施。  
今年度より、活動報告を「あさお・ボランティア・当事者連絡会」の広報誌へも掲載。  
地域の不動産会社への訪問インタビューについて検討中である。
- ・地域福祉交流講座について実施検討をしたが、取り組むべき講座内容が決まらず実施はしないこととなる。

# 相談支援委員会

## 1. 活動目的

「麻生区内におけるより良い相談支援体制を作り出す。」

## 2. 長期目標

「相談支援事業所の存在や取り組みを周知すること」

## 3. 短期目標

「相談支援に関する課題の抽出を行い、その課題に合わせた取り組みを行う。」

## 4. 活動状況

昨年度行った相談支援アンケートについて結果を分析中。

- 分析 ①障害者手帳別による分析（手帳別に課題が異なるか検証）  
②「満足の原因」の空欄回答による分析(不満の方の少なさ)

結果 手帳別での偏りはなく、全体的に満足している方が多い。  
しかし、説明の分かりにくさ等に満足しておらず、改善のニーズがあることが分かった。





**ご清聴ありがとうございました...**

# 多摩区地域自立支援協議会

平成29年 1 1 月 1 3

日 (月)

川崎市地域自立支援協議会 第3回全体会議

## 29年度目標

長期目標：さらに一歩！  
地域とのつながりを深めよう！

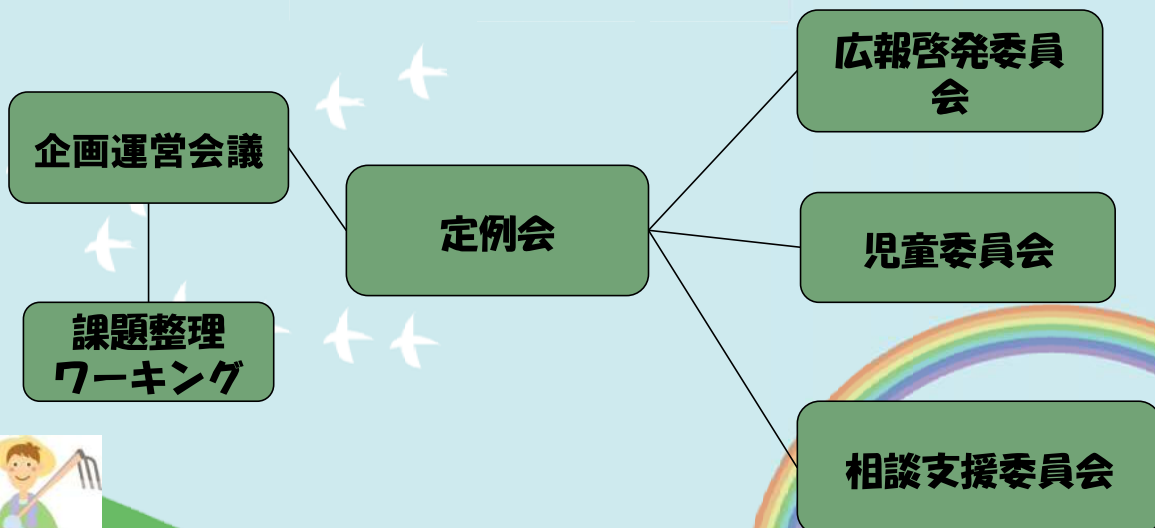
短期目標：知り合った人たちと  
次の一歩を進めよう！

**GO!**



# 平成29年度の活動体制

企画運営会議、各委員会は 月1回 開催。  
定例会は 原則隔月 開催。



## 定例会 グループ討議テーマ

課題管理一覧表から抽出された課題の中から、最優先課題3つについて話し合いの場を設け、次年度の委員会立ち上げの材料としています。

### ☞ 7月 「ヘルパーの不足について」

移動支援、行動援護のヘルパーが見つからない、行動援護を担える事業所が少ない、土日に利用希望が集中する、入浴介助の男性ヘルパーが不足している等の課題がある。

⇒ヘルパーが不足している現状を伝える(広報など)、男性ヘルパーを応援する集い、グループ支援にする、障害者サポーターの活用、見つからないのであれば 一人で楽しむ時間にする、サロンなど行先があるとよい等

## 👉 9月 「グループホームの課題について」

(市内で30%のグループホームが多摩区にある)

週末の過ごし方(日中は職員不在のため外出サービスの利用を余儀なくされることも、それにより在宅のかたの支援が希薄な状況)空き情報が行き渡らない、新設や空き情報が出てもすでに入居者が決まっている状況があり公平ではない等の課題。

⇒週末の出かけ方の工夫(サークル活動の情報提供、ドライブ、ひとつの部屋に集まる等)土日世話人がいない理由を明らかにする、空き情報を更新できる仕組み作り、地域拠点事業を多摩区でも取り組めるような働きかけ、空き家を活用しグループホームにする等

## 👉 11月討議予定

「医療的ケアのある方の社会資源が少ない」

# 【広報啓発委員会】

自立支援協議会の活動と、地域のことがわかる広報誌を年1回発行。秋号の印刷完了。6月の多摩ふれあいまつりで、協議会を知ってもらうための啓発活動を行い、アンケートを実施。

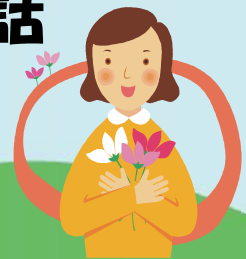


多摩区内のイベント等の発信→

## 【児童委員会】

多摩区内の児童関係機関がお互いに顔の見える、横のつながりが持てるように活動します。

- ・ こども達を支援している事業所の集い  
10月30日（月）午前  
当事者 当事者家族 支援者の話
- ・ 地域の支援学級を通じ学校と連携する方法を考える←未実施



## 【相談支援委員会】

- ・ 多摩区内の方に相談支援が行き渡るには、どのような方法があるか考えます。
- ・ 指定特定相談支援事業所との意見交換会  
10月16日（月）午前  
相談支援を利用している当事者からの話を聞き、グループで討議。区役所、委託、指定特定事業所、当事者それぞれの立場から現状に対する意見を出し合った。



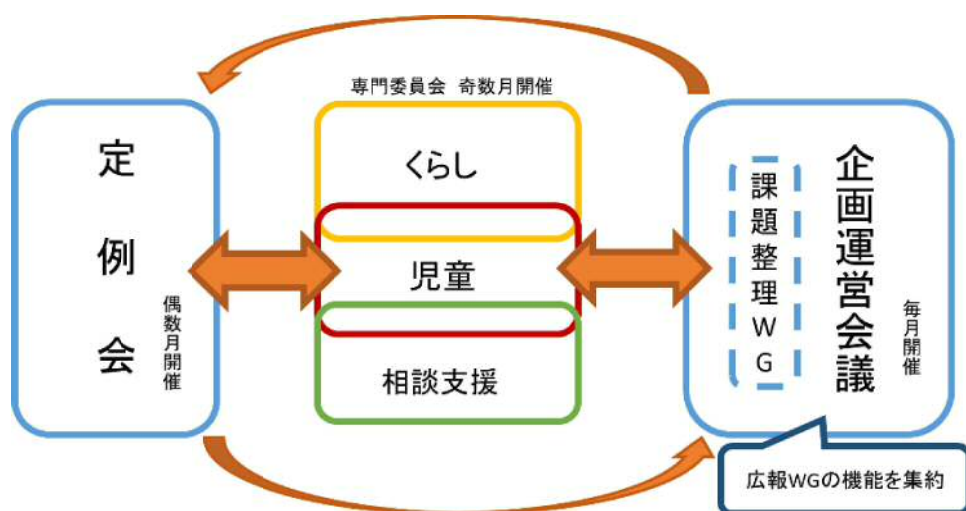


# 平成29年度 宮前区地域自立支援協議会 活動進捗報告



平成29年11月13日(月)  
第3回川崎市地域自立支援協議会全体会議

## 平成29年度 体制、長期・短期目標(再提示)



**長期目標** 地域でつながり、みんなの暮らしやすさを広げる

**短期目標** 地域の資源情報や現状をわかりやすい形にして発信する



## くらし委員会(4月~5月)

短期目標 「防災(薬)」と「移動」に関する情報を整理して地域で共有する



くらし委員会全体協議⇒年間スケジュール、情報発信の方法について



「防災(薬)」グループ



「移動グループ」



## くらし委員会「防災(薬)」グループ(5月~9月)①

平成28年度実施した「薬局への聴き取り調査」の振り返り、結果を整理分析  
(大手薬局、ドラッグストア併設薬局、個人薬局への訪問)

薬に関連した役に立つ情報を発信していこう!

具体的な情報の内容は?

- ・普段からできること(便利な使い方)や工夫  
⇒おくすり手帳、薬の管理方法、薬の使い方
- ・災害が起きた時に備えて  
⇒おくすり手帳の活用方法



## くらし委員会「防災(薬)」グループ(5月~9月)②

どう方法で発信？

- ① 発信したい内容の整理
- ② 紙媒体を用いて発信していくことを決め、案の作成

ラフ案の完成！

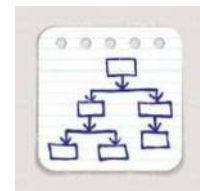


## くらし委員会「移動」グループ(5月~9月)①

具体的な情報の内容は？

- ・当事者の「移動」に関する状況を整理し、  
対応できる資源や方法の情報収集

フローチャート形式でまとめていく！



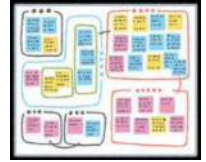
フローチャートを各構成員が作成。全員でイメージを共有

# くらし委員会「移動」グループ(5月～9月)②

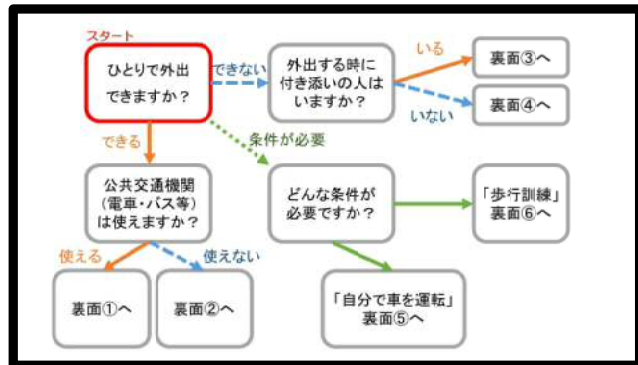
各自作成したひとつのフローチャートにまとめる

## 【方法】

- ・作成したフローチャートの項目を、付箋に書き出す。
- ・ホワイトボードに付箋を貼り、整理していく。



フローチャート(案)の作成



# くらし委員会(9月)

- ・くらし委員会全体で、意見交換を実施。



## 今後の配布方法や活用手段について

紙媒体の内容を確定させ、配布先などを検討していく  
(予算の範囲内で！ホームページ等も活用していく)

# 児童委員会(4月～10月)①

## 短期目標

発達に心配のある児童の保護者等へ必要な情報を届けるために、現状を把握し整理する。

課題整理WGでまとめた資料



・最新の福祉サービスとは？  
・発達の途中で支援が途切れてしまうのはなぜ？

## 方向性

制度やサービスの内容を知るだけでなく、人・地域・支援機関など

- ・どこと連携が取れているのか？
- ・どこと連携が取れていないのか？

「繋がりの薄い部分を見出し、連携強化のためにどうしたら良いか」を考えていく



# 児童委員会(4月～10月)②

## 活動

学齢期を取り巻く機関との情報・連携を意識して現状の体制について把握していこう！

- ① 福祉機関＋わくわく、放課後デイ、日中一時・・・等
- ② 教育機関
- ③ 医療機関・療育センター



3つのグループに分かれて、聞き取り調査を実施(共通項目)

## 今後

福祉・教育・医療がどう連携しているのか？連携の実態を把握して整理



## ワーキング・定例会の活動報告

### 課題整理ワーキング

- 課題提出票 提出16件 検討16件
- 課題一覧表の更新

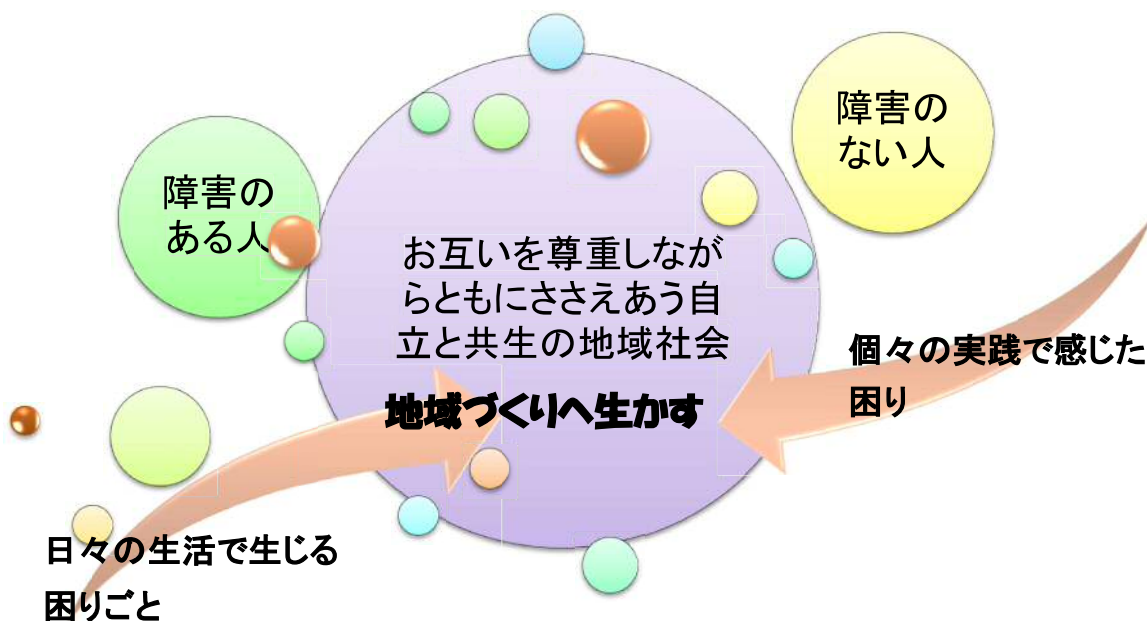
### 定例会

8月 地域包括支援センターとの意見交換会  
「防災」をテーマに、各所・個人で行っている  
防災への取り組みについて意見交換。  
要援護者避難支援制度についての講習





# 高津区地域自立支援協議会



平成29年11月13日(月)  
平成29年度第2回川崎市地域自立支援協議会全体会議

長期目標（平成28～29年度）

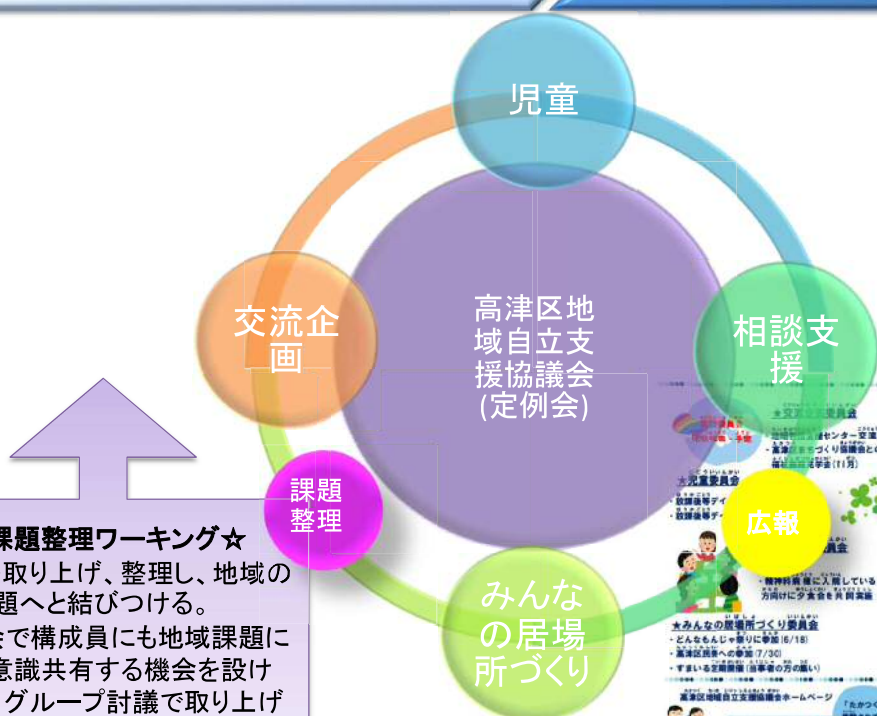
「知る 知らせる 理解する」

・・・互いを知る 課題を知る 地域の力を知る・・・」

短期目標（平成29年度）

知る→一歩踏み出そう

～高津区の現状（課題と地域力）を共有し、一緒に取り組めるつながりをつくる～



☆課題整理ワーキング☆

- ・課題を取り上げ、整理し、地域の共通課題へと結びつける。
- ・定例会で構成員にも地域課題について意識共有する機会を設けるため、グループ討議で取り上げる議題を検討。

# 交流企画委員会

## \*課題\*

- ・障害を持つ人とそうでない人との相互理解がすすんでいない。
- ・地域のまちづくりに当事者の声を届けたい。

## \*長期目標\*

福祉・教育・地域の連携を図り、当事者の方たちの思いを地域に発信する。

## 平成29年度\*短期目標\*

防災への取り組みを通じて、地域で生活する方と当事者の方との相互理解を深める。

## 平成29年度に重点的にとりくむこと

- ・当事者の困り感を地域で共有するまでには至っていないため、各機関との交流を継続し、啓発活動に取り組む。

☆高津区こころのバリアフリー推進事業への協力

☆まちづくり協議会への参画

11月8日(水)障害者施設「まじわる」見学

1月24日(水)福祉のまちづくり 避難所運営ゲーム

☆包括支援センターとの連絡会

12月か1月に開催予定 事例を通しての勉強会

# 児童委員会

## \*課題\*

放課後等デイサービス事業所の増加に伴い、利用者が複数の事業所を利用することで、連携した療育的アプローチが行いにくい。  
放課後等デイサービス事業所が増え、実態が把握できない。

## \*長期目標\*

より良い療育の為にネットワークづくりを目指す

## 平成29年度\*短期目標\*

交流会でのネットワークを活用しながら、児童期の課題を把握し、解決のための手立てについて協議する。



平成29年度内に重点的に取り組んでいること  
【交流会】事業所間の自主運営を後方支援することを目指す。現状ではその段階には至っていない。当面は委員会主催となるが、交流会のありかたについて検討を行う。  
【見学会】見えた課題や学んだ意見の集約を行う。

☆交流会開催(6月)

☆放課後等デイサービス事業所間(6か所・20人)の見学(10月)

# みんなの居場所づくり委員会

＊課題＊

当事者がやりたいことをできない、地域に出る機会が少ない、自分の力を生かせる場がない。



＊長期目標＊

活動の中で、少しずつ当事者が主体的にできることを増やしていく



平成29年度＊短期目標＊

- ①活動の中で少しずつ当事者が主体的にできることを増やしていく。
- ②すまいる（当事者定例会）を定着させ、当事者からの発信を促す。

地域の生活者として自分の経験を活かす！！



☆地域イベントの参加

6月18日(日)どんなもんじゃ祭り

7月30日(日)高津区民祭

☆すまいる定期開催

(2ヶ月に1回程度)



## ☆平成29年度に取り組む中で新たに増えてきたこと☆

【すまいる】

当事者主体の会への移行するため参加者への意識づけの方法について検討が必要。  
(当事者が望む会の形とは?)

【地域へ発信】

当事者の顔を知ってもらう方法の検討が必要。  
地域と継続的につながっていくためには?

# 相談支援委員会

＊課題＊

高津区の入院患者全員が地域に移行することが進んでいない。

＊長期目標＊

地域移行・地域定着の促進をはかる

地域移行対象者の  
想いにふれたい!!

平成29年度＊短期目標＊

高津区での地域移行・地域定着の実情を理解する。

☆夕食会の共同実施 9月25日

入院中の参加者に地域とのつながりを実感していただける  
ようなきっかけを作る

☆勉強会 10月24日・11月28日

ピア活動をしている方をお招きして、入院されている方、退  
院した方の実情を学ぶ。



## ☆平成29年度に取り組む中で新たに増えてきたこと☆

【食事会】地域機関の職員と入院されている方たちとの顔の見える機会をもつ。

- ・参加者は食事に来ていることを純粋に楽しんでいる。
- ・協議会としての参加目的（地域移行支援）をどのように伝えていけばいいのか。
- ・協議会構成員は準備に追われてしまうが、構成員と参加者が同じ席に着いて、食事を食べて話をするという時間も必要。
- ・夕食会に参加した方たちの地域に対する思いをどのように聞き取り、聞き取った後協議会としてどう活かすのか。

【勉強会】支援者側の姿勢を学ぶ（事例を元にグループワークの意見より）

- ・地域に出ていく経過の中で知人、本人にとっての信頼できる人が必要・・・どう見極めるか
- ・入院中からの支援に入る。退院したい気持ち、漠然とした不安に寄り添う。支援者の姿勢が大切  
どうありたいかを本人と相談しながら形にしていく。
- ・楽しみを見つけながら背中を押す
- ・地域の様子がわからない、生活能力、経験の不足、退院へのモチベーション  
モチベーションの維持
- ・病院側 明るく送り出す姿勢が大切。入院中から外出の機会の充実
- ・主治医との連携
- ・地域でのインフォーマルな支援（民生員、近所の方）、地域力をどう育てる？  
目に見えにくい障害。障害開示でのデメリットや個人情報の問題・・・自然な形で生活に入り込む地域力
- ・コミュニケーションの苦手さなど本人の実態に合わせた支援を考えることが大切

平成29年度

# 中原区地域自立支援協議会



平成29年11月13日(月)  
第3回川崎市地域自立支援協議会全体会議資料

## 長期目標(平成28~29年度)

- ▶ 中原区地域自立支援協議会の体制作り

## 平成29年度の短期目標

- ▶ 中原区の資源・課題を知り、地域と広く連携を図っていく



## 児童委員会

長期目標

つながる、広がる、支えあう

今年度の  
短期目標

支援の必要な子どもたちのための地域の資源を集め課題を見つける  
子ども未来フェスタに参加し、普及啓発を行う  
中原区の児童のための情報をまとめた冊子を作成する

これまでの  
取組み

子ども未来フェスタ参加準備  
「豊かな療育を考える会」例会出席  
情報冊子編集に向けた事業所アンケート調査

これからの  
取組み

放課後等デイサービス連絡会開催の目的の明確化等を通して  
支援の必要な児童の地域資源を整理検証していく

## 相談支援委員会

長期目標

中原区内の相談支援体制の標準化をめざす

今年度の  
短期目標

みまもり支援センターと継続的につながるための  
アプローチについて検討する

これまでの  
取組み

「利用者基本情報及び依頼書」を活用した事例検討を通して  
地域課題を抽出  
指定特定事業所交流会の企画運営

これからの  
取組み

「利用者基本情報及び依頼書」書式の評価・改良  
みまもり支援センターとの意見交換会の開催



# 普及啓発委員会

長期目標

中原区内の地域の方と支援機関の顔の見える  
関係を作る

今年度の  
短期目標

広報活動を通じて地域の方に協議会を知ってもらう

これまでの  
取組み

「なかはらファミリー」活動  
広報紙『なかは楽通信3号』発行  
中原区福祉健康まつり



これからの  
取組み

「なかはらファミリー」活動の支援継続

## ワーキング活動 1 ～課題整理ワーキング～

構成員の声

- ・ 課題提出票が書きにくく提出しにくい
- ・ 課題提出後の取扱いが分かりにくい

ワーキング  
の取組み

- ・ 中原区版課題提出票の改良
- ・ 課題整理の流れが理解しやすいようにフローチャートを作成

今後の予定

- ・ 提出された課題の分類や整理
- ・ 来年度の協議会取組み課題の絞り込み

## ワーキング活動 2 ～構成員のあり方ワーキング～

### 目的

- ・ 構成員のあり方を考える
- ・ 中原区地域自立支援協議会細則に明文化する

### ワーキングの取組み

- ・ 構成員を広く受入れるときの「合理的配慮」を明確化
- ・ 「合理的配慮」の認識統一を進める方法の企画立案

### 今後の予定

- ・ 区協議会としての合理的配慮の捉え方、構成員のイメージ像を統一することを目的に、1月定例会で事例を提示したグループワーキングを計画

## ワーキング活動 3 ～研修ワーキング～

### 研修テーマ方向性

- ・ 広く協議会を知ってもらう機会とすること
- ・ 協議会で課題となっている事柄を研修で取り上げることで、区内で広く共有理解を諮っていく

### ワーキングの取組み

- ・ テーマ設定、構成等企画立案、講師調整、広報の方法

### 今後の予定

- ・ 12月15日、中原区役所会議室にて研修実施予定
- ・ テーマ「知っていますか？いざという時にあなたの地域のこと～防災の事、助けを必要とする人のこと～」

# 平成29年度 幸区地域自立支援協議会

平成29年11月13日(月)  
第3回川崎市地域自立支援協議会全体会議

第1回資料

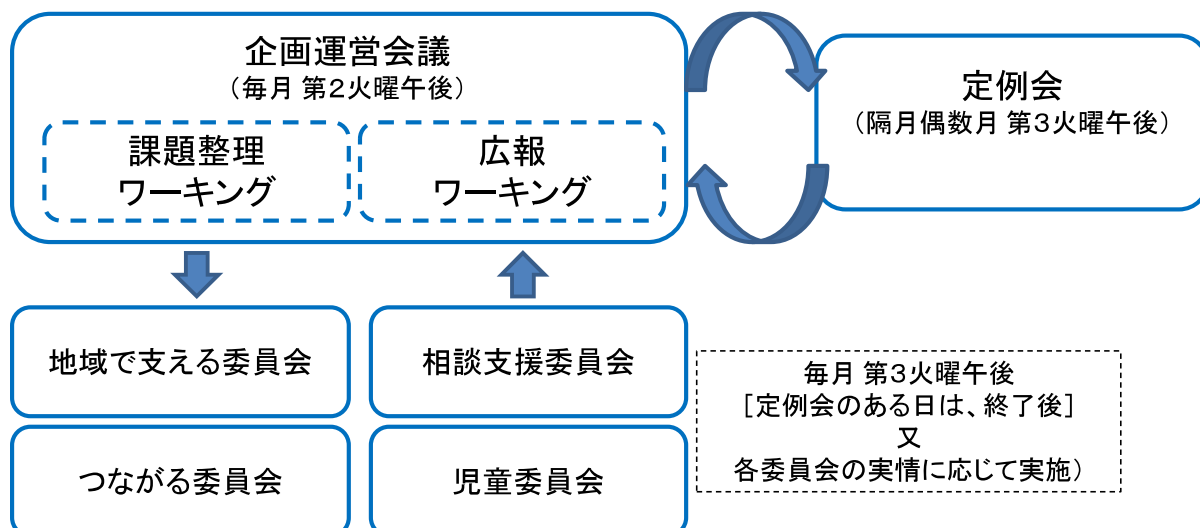
平成29年度 幸区地域自立支援協議会体制①

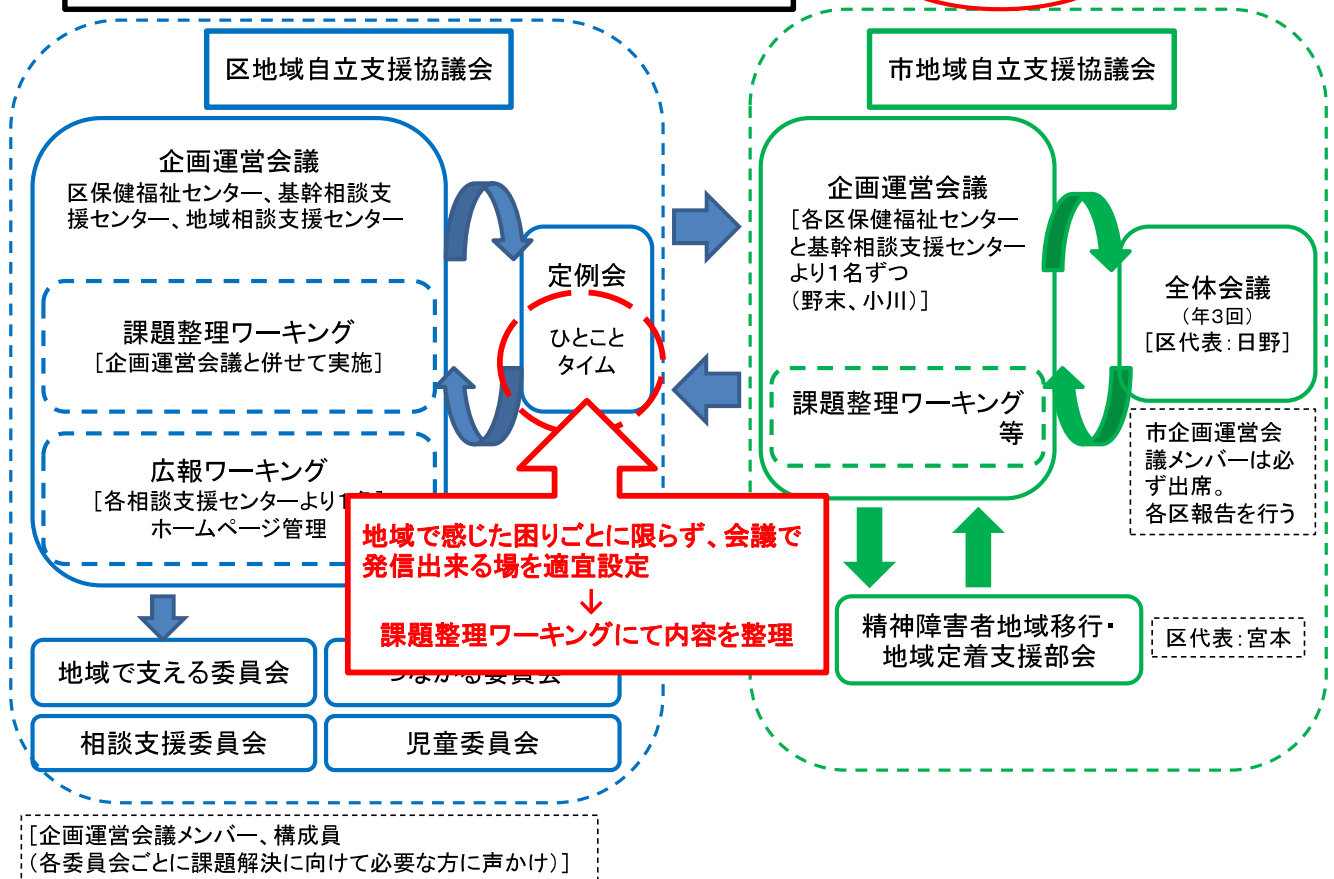
長期目標(期間:平成28年度~29年度)

- 顔の見える関係で地域が連携し、暮らしやすさにつなげる

年度目標(期間:平成29年度)

- 構成員全員が協働しながら、これまでに築いたつながりを深める





## 地域で支える委員会

### 【地域課題】

高齢、障害その他、地域の複雑な課題を抱える事例、埋もれている事例について、関わった支援者が個々で動いてみたけれど、抱え込んでしまう



### 『地域で支え合う仕組み』 《支援者支援の視点》

#### 活動目的

- 高齢・障害他複雑な問題を抱えていたり、地域で埋もれているケースについて、支援者が個々で抱え込まず必要な関係機関とつながっていくための仕組みを考える。

#### 長期目標

- 個々で抱えている支援者の課題解決につながるような仕組みを作る。

#### 短期目標

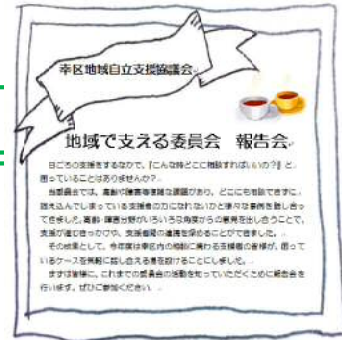
- 地域を支える支援者同士が連携できる場を作る。

## 地域で支える委員会

### これまでの取り組み

- ・今までの取り組み、目的等についての報告会(8月)  
(協議会構成員、地域ケアマネ、地域包括向け)
- ・10月より「きいてみれ場?きてみれ場!」実施。  
事前に概要を確認し、必要な専門機関に出席を依頼。  
一人で抱え込んでいる負担感を軽減できる場になるよう、  
責められずに相談できる場、押しつけ合いにならないよう  
な内容。個別ケースを深める場ではなく、ケースの見立てを  
行い、共有、対応する手段を知る場。

構成員9名、ケアマネ2名参加。  
利用者の情報を把握することが難しく、困っている事例。  
ざっくばらんに意見を出して多機関連携のヒントになる  
ような話し合いができた。



### 今後の予定

「きいてみれ場?きてみれ場!」11月~1月に継続して実施。実施した結果に基づき、その後のあり方について検討。

## つながる委員会

### 【地域課題】①

支援が必要だが、まだ支援が届かない・知らない人が地域に多くいる。



### 『地域の小さな情報が入りやすい雰囲気、ネットワーク作り』

(民生委員児童委員、地区社協への働きかけ)

### 【地域課題】②

フォーマル、インフォーマルな社会資源情報が一体的に把握されてなく、支援が円滑に行えない場合がある。



### 『社会資源情報の共有・活用』

### 【地域課題】③

・本人(の状態)に合った福祉施設を利用できているのかの検証が難しい。福祉施設の特徴(情報)が整理しきれていない。



### 『社会資源の横のつながり』(サビ管同士の連携)

活動目的

- ・地域ネットワーク構築のための企画を行う

長期目標

- ・地域ネットワークの土台を作る

短期目標

- ・地域がお互いの活動を知る。協議会を知ってもらう。

## つながる委員会

### これまでの取り組み

・幸区社会福祉協議会より6月定例会にて事業説明。

・7月にサビ管交流会実施。  
今年度より生活介護サビ管に加え、就労継続サビ管も出席。  
施設紹介、事例検討を実施。

・就労系と生活介護系は普段の接点がない。自分達の地域にどんな事業所があるのかを知る契機。  
・情報共有や今後の研修会の情報交換ができて有意義。  
・普段は事業所内にいることが多いので、貴重な情報交換の場。



### 今後の予定

・社会資源実態調査

ヘルパー事業所の実態調査

各事業所に11月アンケート(事業所の特徴、空き状況等)実施し、定期的な情報集約できる仕組みについて検討

・サビ管交流会の実施

第1回は委員会主催で開催したので、年度後半に自主的開催できるような働きかけを行う。

## 相談支援委員会

### 【地域課題】

計画相談を立てる事業所の数が少ない為、計画相談を受けられない人がいる

↓

### 『計画相談についての課題検討の場』

活動目的

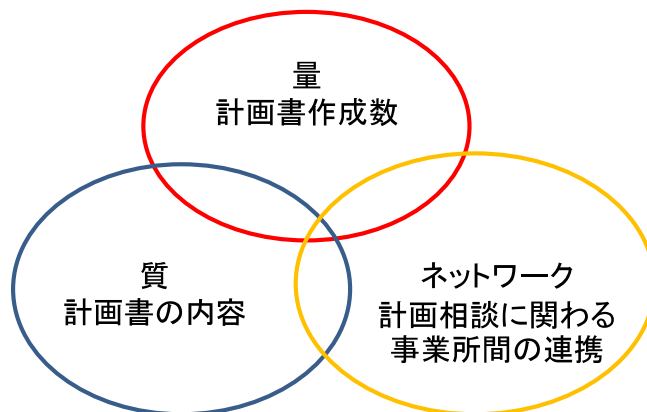
・計画相談がスムーズに行われる仕組みを作る

長期目標

・3つのカテゴリーの充実から、幸区の計画相談支援の充実を図る

短期目標

・課題への取り組みを通して、計画作成事業所等との関わりを深め、計画相談支援の向上を図る





## 相談支援委員会

### これまでの取り組み

#### ○「指定特定相談支援事業所との連絡会」

7月、9月開催

幸区の計画相談支援の質の向上と充実を図ることを目的に

- ・計画相談支援作成の手順
- ・サービス基準超過ケースの取り扱い
- ・幸区内福祉事業所の確認

について実施(説明、質疑応答等)。



平成29年度指定特定相談支援事業所連絡会  
 ○開催の目的：幸区の計画相談支援の質の向上と充実を図ります。  
 ○方法：事業所定員が対応できる機会を持ち、各テーマごとに、現状の連絡や課題を話し合います。  
 ○参加者：指定特定相談支援事業所、委託型相談支援センター、障害者支援所

回	日時	場所	テーマ
第1回	7月19日 (水) 10:00～ 12:00	幸区役所第3会議室	計画相談支援の作成の手順について
第2回	9月20日 (水) 10:00～ 12:00	幸区役所第4会議室	①サービス基準超過ケースの取り扱いについて ②幸区内福祉事業所の確認
第3回	11月15日 (水) 10:00～ 12:00	幸区役所第5会議室	事業所間の引継ぎの課題について
第4回	3月14日 (水) 10:00～ 12:00	幸区役所第5会議室	介護保険対象者の計画相談について



### 今後の予定

- ・「指定特定相談支援事業所との連絡会」11月、3月

## 児童委員会①

### [地域課題]

学齢期に支援が必要と思われるエピソードはあるが、社会に出てからつまづく等、生活の立て直しが困難。



### 『学齢期における教育と福祉の連携』

活動目的

- ・学齢期における教育と福祉の関わりを広げる

長期目標

- ・幸区内特別支援教育コーディネーターとの連携

短期目標

- ・幸区内中学校特別支援教育コーディネーターとの関係づくり

### 今後の予定

コーディネーターとの意見交換等を目的とした区内中学校の訪問に向けて、中学校長宛に依頼文書を作成。サッカーイベント開催後に依頼文書を送付し、訪問日の調整する予定。

## 児童委員会②

### [地域課題]

父親が子育てに関わる機会が少なく、父子関係に影響したり、父親の力が発揮できない



### 『父親相互の横の連携を図り、父親の力を高める』

(父親と障害のある子供たちのふれあい)

#### 活動目的

- 父親相互の横の連携を図り、父親の力を高める

#### 長期目標

- 父親同士が語り合える場を設定し、つながりを作る

#### 短期目標

- 父親同士が語り合える場を設定し、横の連携、つながりを持てるようにする

## 児童委員会②

### これまでの取り組み

- 7月に福祉施設見学会実施  
(昨年度末に実施した見学会(就労移行支援事業所)時のアンケートをもとに実施)



- 一度見学をしたかったのが良かった。ショートステイは18歳未満でも利用可だと思っていたので残念。
- 施設の実際の利用状況を見せてもらい、イメージが分かり易くて良かった。
- 学校の見学会では平日が対象なので、土日の開催はとても有難かった。等

### 今後の予定

- 父子での交流イベント(ふれあいサッカー)12月実施(5年目)。父親に当日の役割(カメラや閉会挨拶など)を依頼し、運営に関わってもらう予定。意見交換の場を設け、今後、協議会と父親と一緒にどのような企画(サッカーイベント以外でも)ができるかをテーマに話を予定

**福祉施設見学会**  
7月29日(土)  
10:00~12:00  
障害者支援施設 桜の風  
(中野区保田3-16-1)

**お父さんと繋がりのある子供たちのふれあいサッカーイベント**  
川崎フロンターレが やってくる!  
日時:平成29年12月10日(日)  
午後2時から午後3時30分  
(午後1時30分~1時50分開演)  
場所:湯沢小体育館  
対象:単区内にお住まいで、障がいのあるお子さん(小・中・高校生)と  
そのお父さん【申込20組】

# 平成29年度 川崎区地域自立支援協議会について

平成29年11月13日(月)  
第3回川崎市地域自立支援協議会全体会議

## 平成29年度の目標・設置の専門委員会及びワーキング

【長期目標】(平成28年度～平成29年度)

『ともに暮らすまちづくり ～みんなにやさしい川崎区～』

・地域に根ざした関係機関との関係づくりから、いつまでも安心して健やかに暮らせるまちを考えていく

【短期目標】

『ネットワークを活用した地域課題への実践、取り組み』

・地域自立支援協議会のネットワークを深める

・地域で活動する関係機関へ障害者施策(障害者差別解消法といった日常生活に関連するような法律など)を紹介し、支援者のスキルアップを図る

〔定例会〕

構成員同士のネットワークを深めるために、テーマを決めて意見交換を行う。

〔専門委員会〕

児童委員会・相談支援委員会・地域つながり委員会の3つを設置

〔ワーキング〕

企画運営会議内に、課題整理ワーキング、指定特定ワーキング、地域包括ワーキングの3つを設置

# 定例会の取り組み

- ・2カ月に1回(偶数月)開催。専門委員会等の活動報告の他に構成員同士のネットワークを深めるため、テーマを決めて意見交換会を実施。
- ・『「こんな街だといいな」ってどんな街?』(街のイメージは川崎区を想定)をテーマに、4グループに分かれて意見交換を行い、地域の状況(良いところ、課題等)を共有した。

## 〔意見抜粋〕

- ・安心して子どもが遊べる場所がある。
- ・自分ができることを通して、人と人が繋がる。一人一人の小さな力があって地域が活性化していく。
- ・誰でも立ち寄れる、気軽に立ち寄れる場所がある。
- ・文字による情報だけではなく、絵や写真、マーク等、誰でもわかりやすい表示が多い街。
- ・町内で子どもや高齢者の見守りができる街。

## 〔協議会で取り組みそうなものの意見抜粋〕

- ・お祭りを活かした場作り(お祭りは誰もが参加できる場。誰もが行きやすいと感じられるような企画を考える。)
- ・各町内会の交流の場等に参加していく。
- ・「地域は人と人が作るもの」という意識での働きかけを考えていく。

※12月の定例会にて、他のグループでどのような意見が出たのかを共有。その内容も踏まえて自立支援協議会として取り組みそうなことを出していく予定。

# 児童委員会の取り組み

## 【教育機関と福祉の連携】

### 〔年度当初の方向性〕

- ・先生方に集まってもらい、福祉制度や福祉サービス等について説明する機会を持つための方法を検討する。



私たちがまずは教育機関を理解することから始める必要があるのでは…方向性を変更

### 〔検討後の方向性〕

- ・こちらから学校に出向き、教育機関について話を聞くことから始めていく。
- 活動内容
- ・学校に聞きたい内容を整理。その内容を踏まえて、区内の通級併設の学校に出向き話を聞く。

## 【放課後等デイサービス】

### 〔年度当初の方向性〕

- ・放課後等デイサービスで、重度の方を受け入れている事業所がどの位あるのかを知るための方法を検討する。(事業所数は増えているが、重度の方を受け入れている所は少ないとの課題が挙がっていた)



利用できず困るとの声は減っているが、事業所ごとの特色がわかりにくい等の声から…方向性を変更

### 〔検討後の方向性〕

- ・事業所ごとの特色等の情報を収集するための方法を検討する。
- 活動内容
- ・区内事業所に対するアンケート実施に向けて、アンケート項目の検討を行う。  
(開所日、開所時間、送迎の有無、プログラムの内容、看護師等の専門職配置の有無等)

# 相談支援委員会の取り組み

〔年度当初の方向性〕

- ・学校の先生と相談しやすい関係を作ることを目的として、特別支援学校の先生との交流を図るための方法を検討していく。



児童委員会の活動内容と重複していたこと、当事者家族の声等から…課題管理一覧表を確認し方向性を変更

〔検討後の方向性〕

- ・グループホームや地域移行を目的とした入所施設がどんな所なのか、当事者やその家族がイメージがしやすいような情報提供を検討していく。

○活動内容

- ・聞き取り確認シートに即した市内グループホーム、入所施設へのインタビュー（聞き取り確認シートについては、別添資料参照）
- ・「手をむすぶ親の会」開催の保護者向け研修会の場にて説明

# 地域つながり委員会の取り組み

〔今年度の方向性〕

「支援者同士が相談し合う、支え合う、地域資源と繋がる」ことがあまりないとの意見が多くあったことを受け、以下の内容について取り組むこととする。

【福祉祭りへの参加】

- ・自立支援協議会とは何か、地域への情報発信の場の一つとして参加をする。

〔内容〕

- ・協議会の活動内容紹介、体験コーナー（点字で名刺を作ってみよう）、アンケート（「川崎がどんな街になったらいい？」をテーマに、付箋に書き込んでもらう）等。
- ・平成29年11月18日（土）10：00～15：00 開催

【地区社会福祉協議会と繋がる】

- ・地域を知る、地域に知ってもらうために、地区社会福祉協議会の方とつながる方法を検討していく。

〔内容〕

- ・区社会福祉協議会の方から、地区社会福祉協議会についての話を聞く。（歴史、対象地域、構成員、事業内容等）
- ・地区社会福祉協議会会長連絡会にアナウンスをし、まずは一つの地区からつながるアプローチの方法を考えていく。

# 課題整理ワーキングの取り組み

## 【これまでの取り組み】

- 平成28年度
  - ・企画運営会議メンバー全員で運営。
  - ・平成27年度以前に抽出していた課題を再度分析、課題提出票作成、課題管理一覧表作成。
  - ・平成28年度の意見交換会で作成された課題提出票をもとに課題管理一覧表作成。

## 【今年度の取り組み】

- ・企画運営会議メンバー4名で構成。
- ・平成28年度に作成した課題管理一覧表の「優先度保留」と「協議取り扱い先未定」の部分の再考。
- ・定例会で実施する地域課題の抽出方法の検討。（テーマ、グループ分け、頻度）

# 指定特定ワーキングの取り組み

## 【これまでの取り組み】（平成27年度、28年度は、協議会とは別枠で意見交換会を実施している。）

- 平成27年度
  - ・事例を用いて、委託事業所から指定特定事業所への移行の流れについて説明。（どのように移行していくのか、委託事業所は移行に際して、どのようなフォローができるのか等）
- 平成28年度
  - ・事例を用いて、相談支援の流れについて説明（事業所が連絡を受けてから支援に至るまでの流れ等）
  - ・障害福祉サービスと介護保険サービスの違いについて説明。

## 【今年度の取り組み】

意見交換会を行うに際して、どのような内容を知りたいか、意見交換をしたいか、区内の指定を受けている事業所に聞き取りを実施。計画相談に対する不安（計画の内容、書き方等）を感じている方が多いことがわかる。

### 〔内容〕

- ・サービス等利用計画の書き方について検討し合う場とする方向で調整中。
- ・意見交換会は平成30年1月31日（水）午後開催予定。



# 地域包括ワーキングの取り組み

## 【これまでの取り組み】

### ○平成28年度

企画運営会議のメンバーと地域包括支援センターが協働して、連携強化の取り組みを検討する目的で、意見交換会を開催。（参加者は企画運営会議のメンバーと地域包括支援センターの職員）

## 【今年度の取り組み】

昨年度の意見交換会で挙がっていた共同研修会を実施していく。

構成員には当事者の方やご家族の方、教育機関の方もいることから、今年度は障害に関する研修と意見交換を行うことになっている。

### 〔内容〕

- ・「障害の理解を深めよう ～高次脳機能障害の理解と支援方法について～」をテーマとした研修と意見交換会を実施。
- ・平成30年1月10日（水）午後開催予定。

グループホーム聞き取り確認シート

法人名・グループホーム名 \_\_\_\_\_

聞き取り相手 \_\_\_\_\_

聞き取り者 \_\_\_\_\_

聞き取り日時 \_\_\_\_\_

ホームの概要

ホームのタイプ	マンション型 ・一軒家 ・サテライト・通過型 その他（ ）
定員	_____ 名
主たる対象者	知的 ・ 身体 ・ 精神 その他（ ）
入居者の平均年齢	約 歳 10代 名 ・ 20代 名 ・ 30代 名 40代 名 ・ 50代 名 ・ 60代 名
ホームに携わる職員体制 (どのような職員が、どのような 時間帯にどんな仕事をするのか) (土日・夜間の体制) (緊急時の対応)	
利用料 (1か月ホームで生活する費用)	1か月合計費用： 内訳： ① 家賃 ② 水光熱費 ③ 共用費 ④ 食費 ⑤ ⑥

食事提供の有無 (朝・昼・夕) (土日)	
利用までの流れ (体験の有無・回数、問い合わせ先など)	
ホームの特色 (イベントなど)	
入居者の日中の過ごし方 (生活介護? 就労?)	
入居者の1日(平日) 過ごし方 (起床から就寝まで)	
入居者の休日の過ごし方	
通院同行の有無	○ホームでの通院同行：あり・なし ありの場合(有料 円/回 ・ 無料 ) (受診科：内科・精神科・歯科・その他 ) ○ヘルパー利用での通院同行：あり・なし
看取り介護	